

地球電磁気学・地球惑星圏科学の現状と将来(3) – 研究推進に必要な技術開発・環境整備

Current status and future vision of SGE PSS (3)- Instrumentation, computer simulation/modelling and data system/handling

笠原 慧^{1*}, 梅田 隆行², 村山 泰啓³, 堀 智昭², 笠原 禎也⁴, 三好 由純², SGE PSS 将来構想 WG⁵

Satoshi Kasahara^{1*}, Takayuki Umeda², Yasuhiro Murayama³, Tomoaki Hori², Yoshiya Kasahara⁴, Yoshizumi Miyoshi², SGE PSS future survey working group⁵

¹ 宇宙科学研究所, ² 名古屋大学, ³ 情報通信研究機構, ⁴ 金沢大学, ⁵ 地球電磁気・地球惑星圏学会

¹ ISAS, ² Nagoya university, ³ NiCT, ⁴ Kanazawa University, ⁵ Society of Geomagnetism and Earth, Planetary and Space Sciences

地球電磁気・地球惑星圏学会 (SGE PSS) では、2012年5月に将来構想検討ワーキンググループを発足させ、学会としての将来構想「地球電磁気学・地球惑星圏科学の現状と将来」をまとめてきた。この将来構想は、2013年1月の時点で完成版を作成し、学会ホームページでの公開と冊子体の作成を行った。本発表では、この「地球電磁気学・地球惑星圏科学の現状と将来」のうち、研究推進に必要な技術開発・環境整備 (観測機器開発, 計算機シミュレーション・モデリング, データシステム・処理技術) について紹介する。